



証券コード 5020

2026年2月13日

ENEOS

ENEOSグループ

2025年度 第3四半期決算説明資料

ENEOSホールディングス株式会社

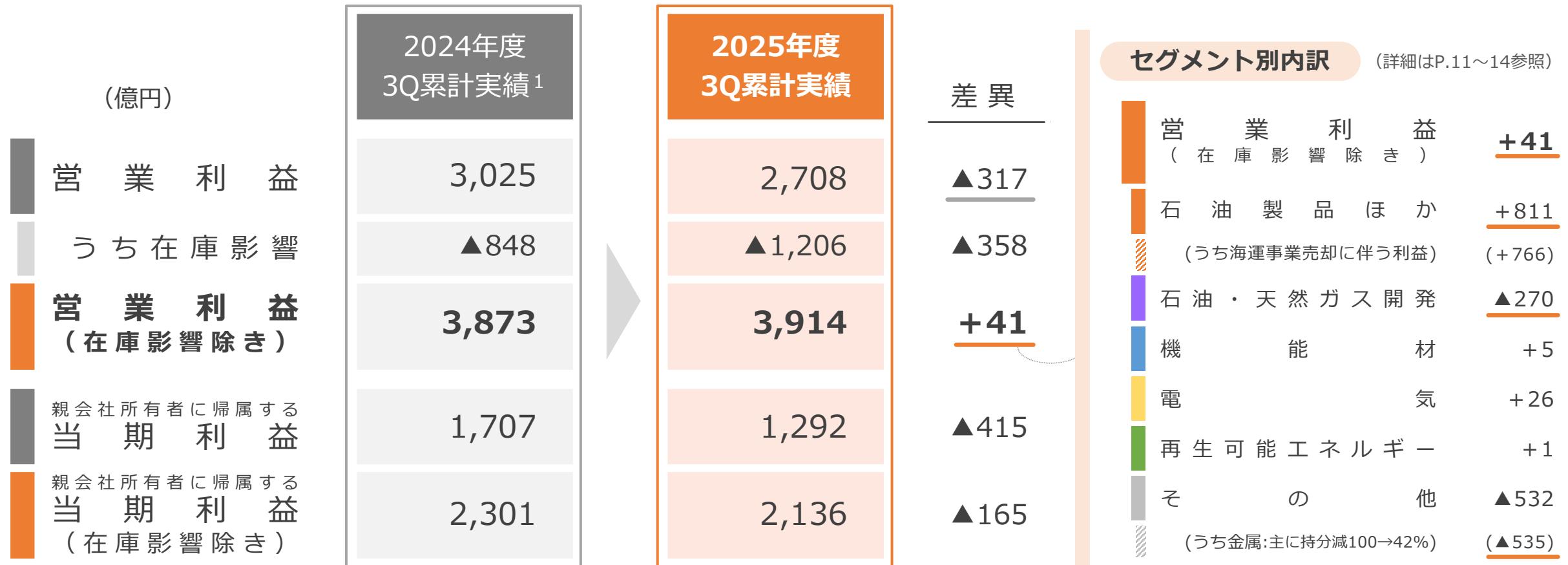
- 1. 決算ハイライト**
- 2. 第4次中期経営計画の進捗**
- 3. 事業環境**
- 4. 2025年度 第3四半期決算**
- 5. 参考情報**

1

決算ハイライト

2025年度 第3四半期決算ハイライト

- 油価下落に伴う在庫影響の悪化を主因に、営業利益は前年比▲317億円
- 在庫影響除き営業利益は、石油・天然ガス開発事業の減益やJX金属株式売却に伴う持分減はあるものの白油マージン良化および海運事業売却に伴う利益による石油製品事業の増益を主因に、前年比+41億円
- 通期見通しについては、4Qの資源価格・為替変動リスクなどを勘案し、11月公表を据え置き



2

第4次中期経営計画の進捗

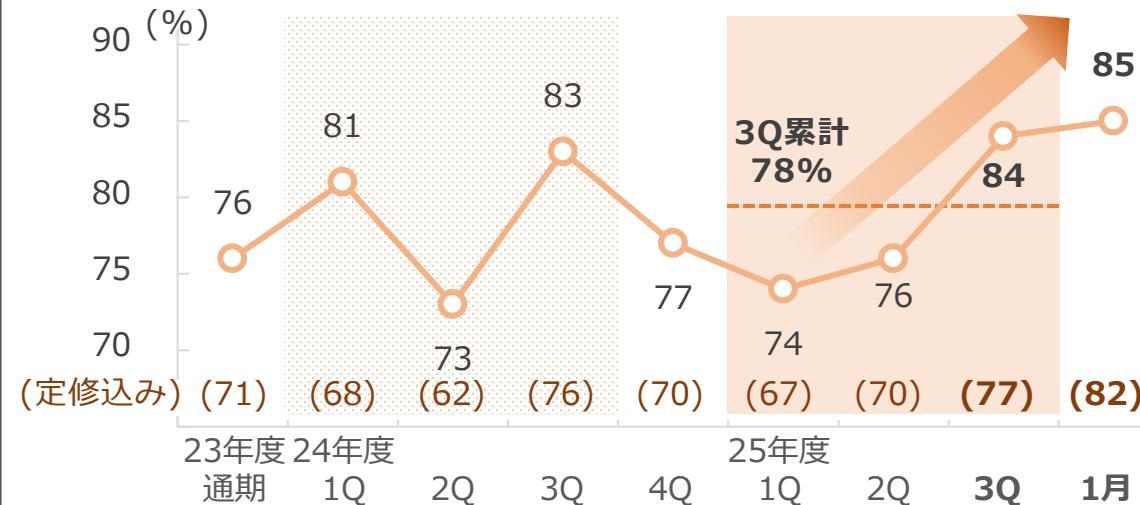
基盤・素材事業の強化に向けた取り組み

石油製品ほか

定修除き稼働率の推移

- 定修除き稼働率は**3Q累計78%**と計画水準に至らないものの、トラブル削減に向けた施策を通じ、**改善傾向が継続**
(検査の強化・前倒し、保全計画の改善、工事品質の向上、運転トラブル削減)
- 効果が出ている施策の確実な実行とともに、適切な補修費投入、AI・DX活用を通じ、2027年度定修除き稼働率90%を目指す

<稼働率推移>

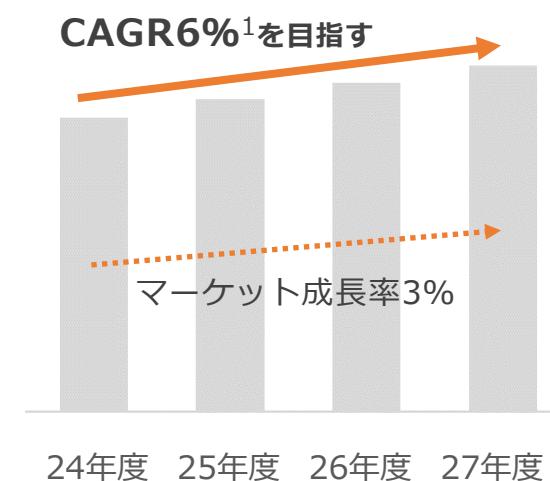


機能材

S-SBR生産能力の増強

- 四日市工場における**高機能タイヤ材料「S-SBR」の生産能力を1万トン増強**することを決定（2027年12月完工予定）
- 当社の強みである「主要タイヤメーカーと密に連携した共同開発」「グローバルな生産体制と営業拠点網」を活かし、**マーケット成長率を上回る成長を図る**

<S-SBR販売数量>

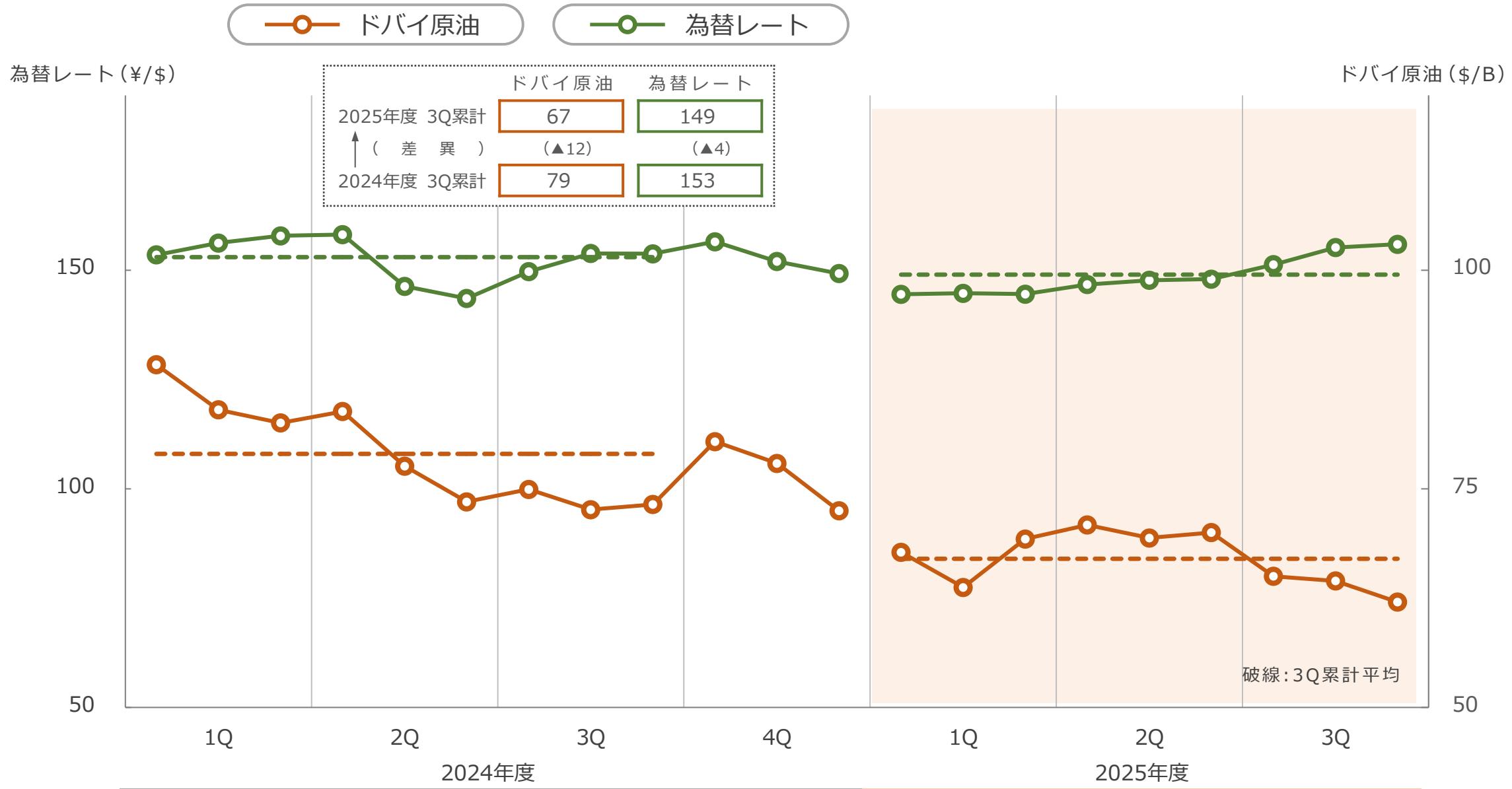


1) Compound Annual Growth Rate : 年平均成長率

3

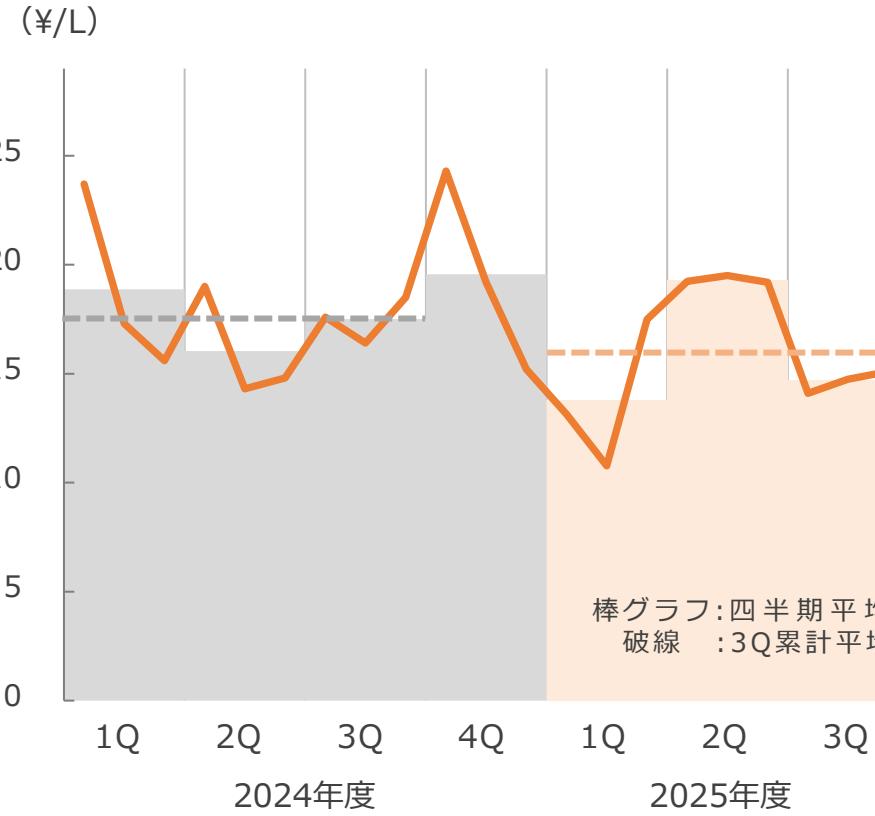
事業環境

主要諸元（原油価格・為替レート）



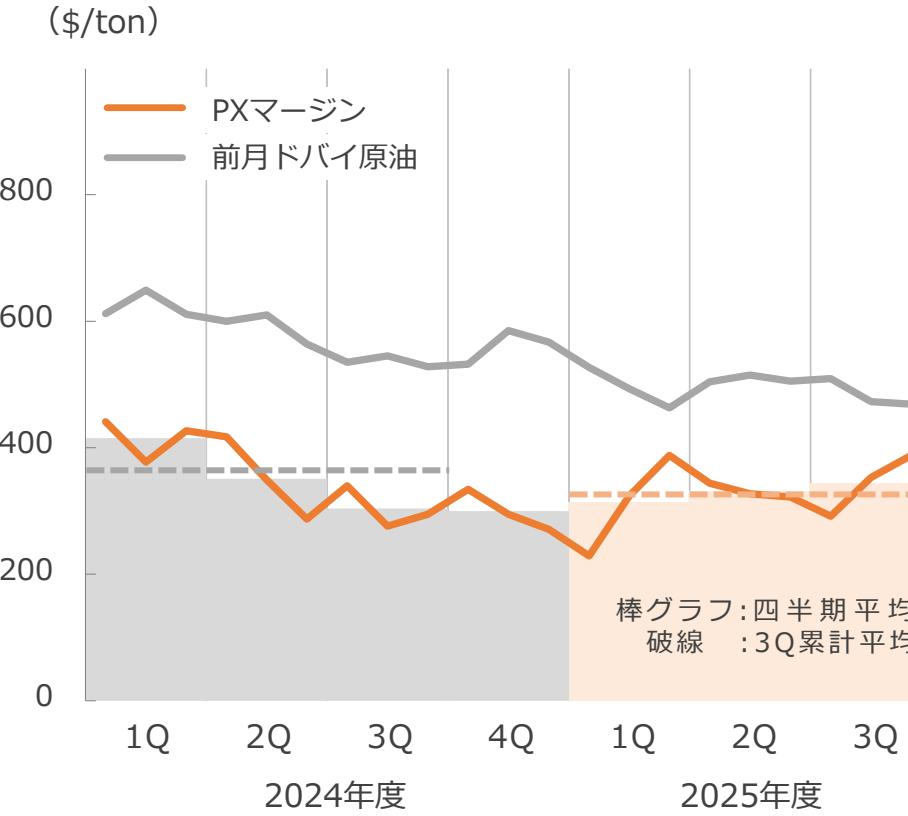
白油 4品・パラキシレンマージン指標¹

白油 4品マージン指標²



2) 国内市況の参考値として、以下の計算式により算出
スポット価格 – 全国通関原油CIF（石油税・金利含み）

パラキシレン(PX)マージン指標³



3) アジア市況の参考値として、以下の計算式により算出
ACP (Asian Contract Price) – 前月ドバイ原油
未決の月はスポット価格の平均値を使用

1) これらの指標は当社のマージン（当社売価 - 当社コスト）とは異なります

4

2025年度 第3四半期決算

2025年度 第3四半期決算概要

	2024年度 3Q累計実績 ¹	→	2025年度 3Q累計実績	差 異	
ドバイ原油 (\$ / B)	79		67	▲12	▲15%
為替レート (¥ / \$)	153		149	▲4	▲3%
売上高 (億円)	96,059		87,224	▲8,835	▲9%
営業利益 (億円)	3,025		2,708	▲317	▲10%
(在庫影響) (億円)	▲848		▲1,206	▲358	-
金融損益 (億円)	▲147		▲119	+28	-
税引前利益 (億円)	2,878		2,589	▲289	▲10%
親会社所有者に帰属する当期利益 (億円)	1,707		1,292	▲415	▲24%
■在庫影響除き					
営業利益 (億円)	3,873		3,914	+41	+1%
親会社所有者に帰属する当期利益 (億円)	2,301		2,136	▲165	▲7%

セグメント別営業利益

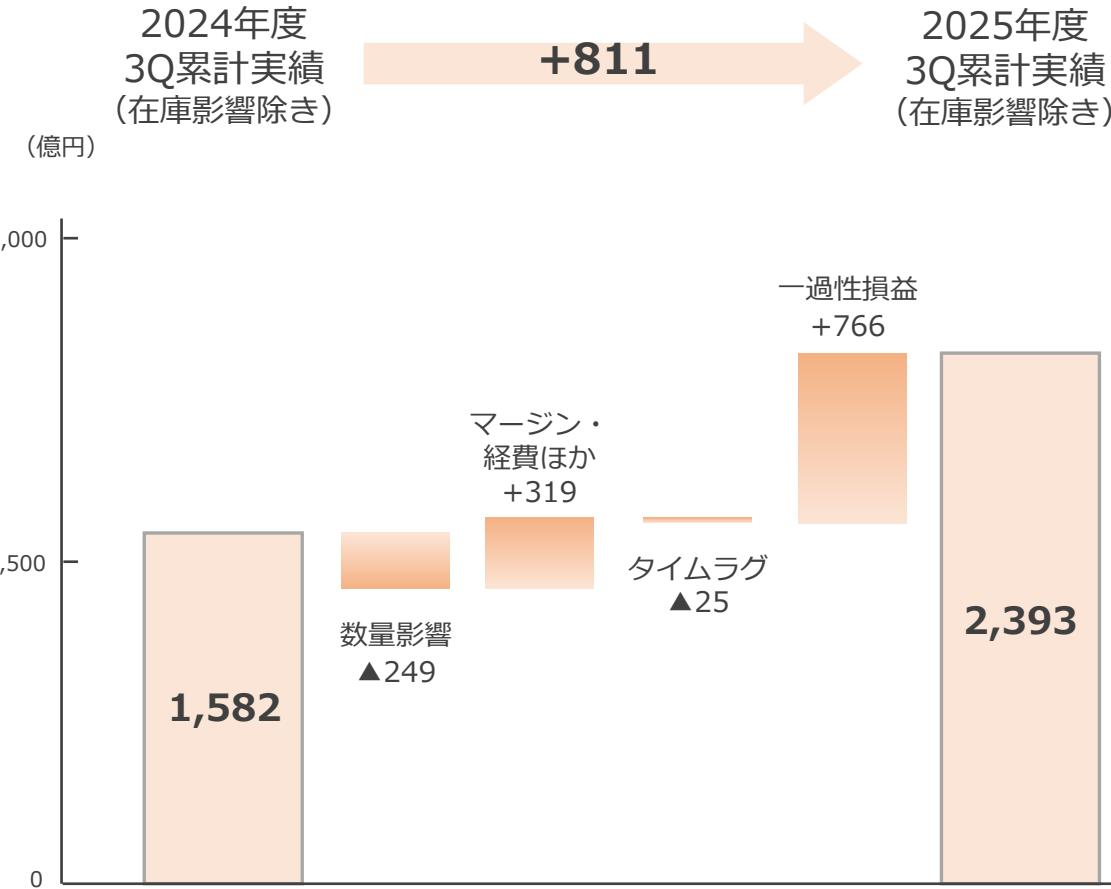
(億円)	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	差 異	
			+41	+ 1%
営業利益（在庫影響除き）	3,873	3,914		
石油製品ほか	734	1,187	+453	+ 62%
在庫影響	▲848	▲1,206	▲358	-
在庫影響除き営業利益	1,582	2,393	+811	+ 51%
石油・天然ガス開発	727	457	▲270	▲37%
機能材	138	143	+5	+ 4%
電気	206	232	+26	+ 13%
再生可能エネルギー	4	5	+1	+ 25%
その他	1,216	684	▲532	▲44%
金属¹	871 ²	336	▲535	▲61%
NIPPO・連結調整ほか	345	348	+3	+ 1%

1) 金属事業の非連結化に伴い、2025年度より金属事業は「その他」に区分

石油製品ほか 在庫影響除き営業利益

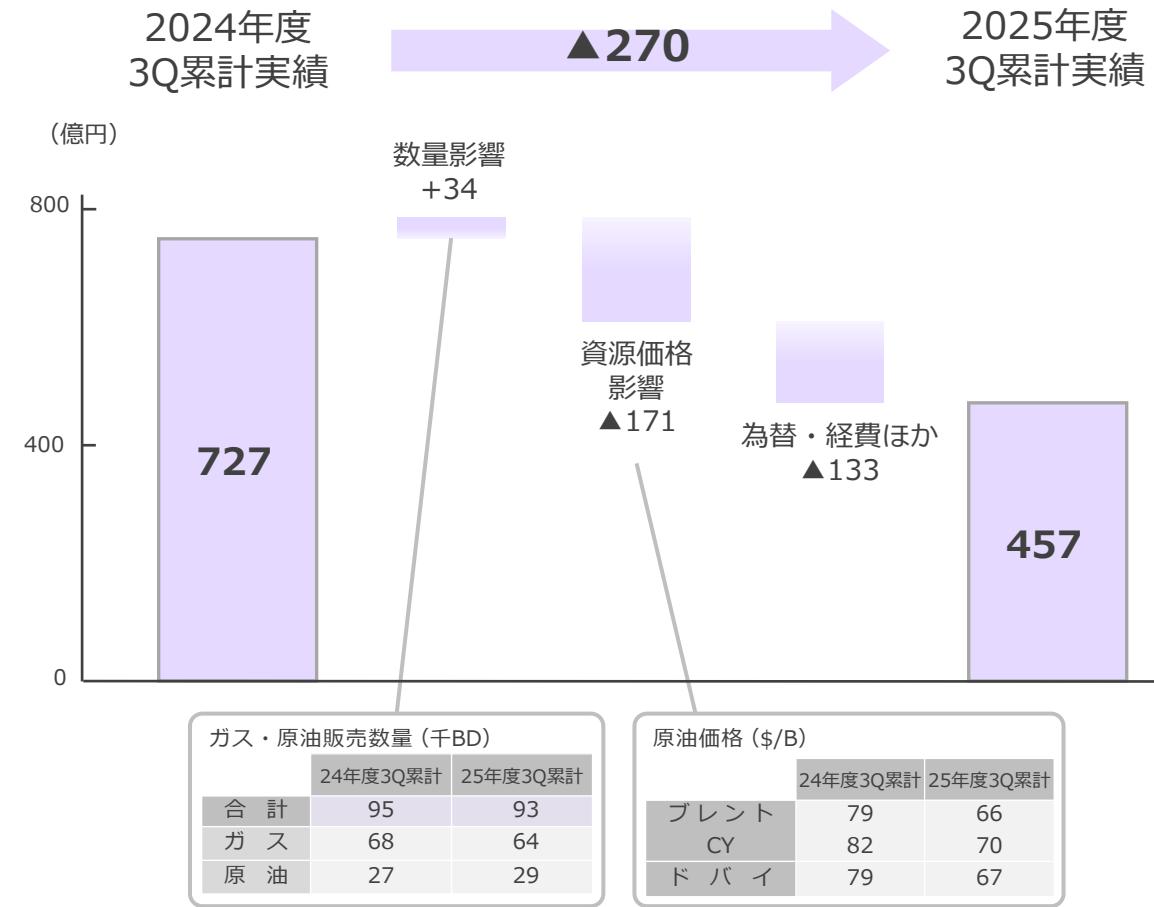
12

白油マージンの良化や海運事業売却に伴う一過性損益により増益

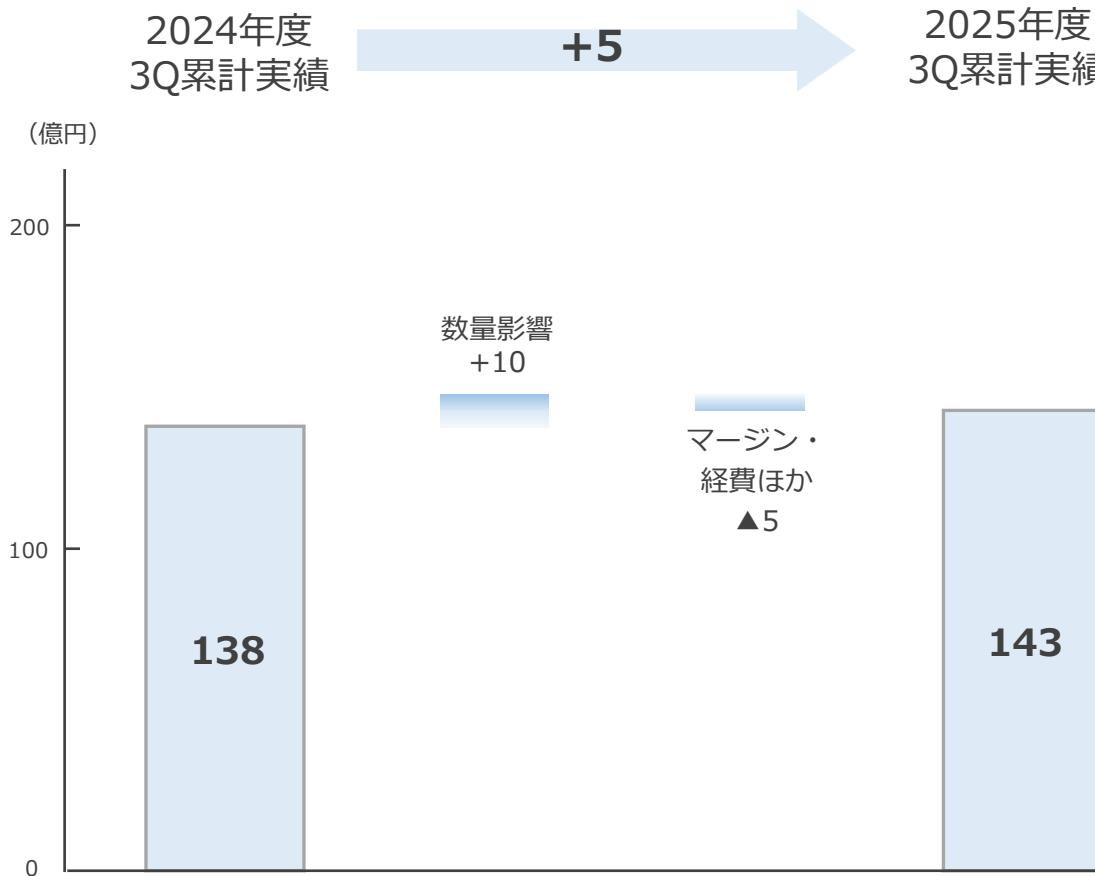


石油・天然ガス開発 営業利益

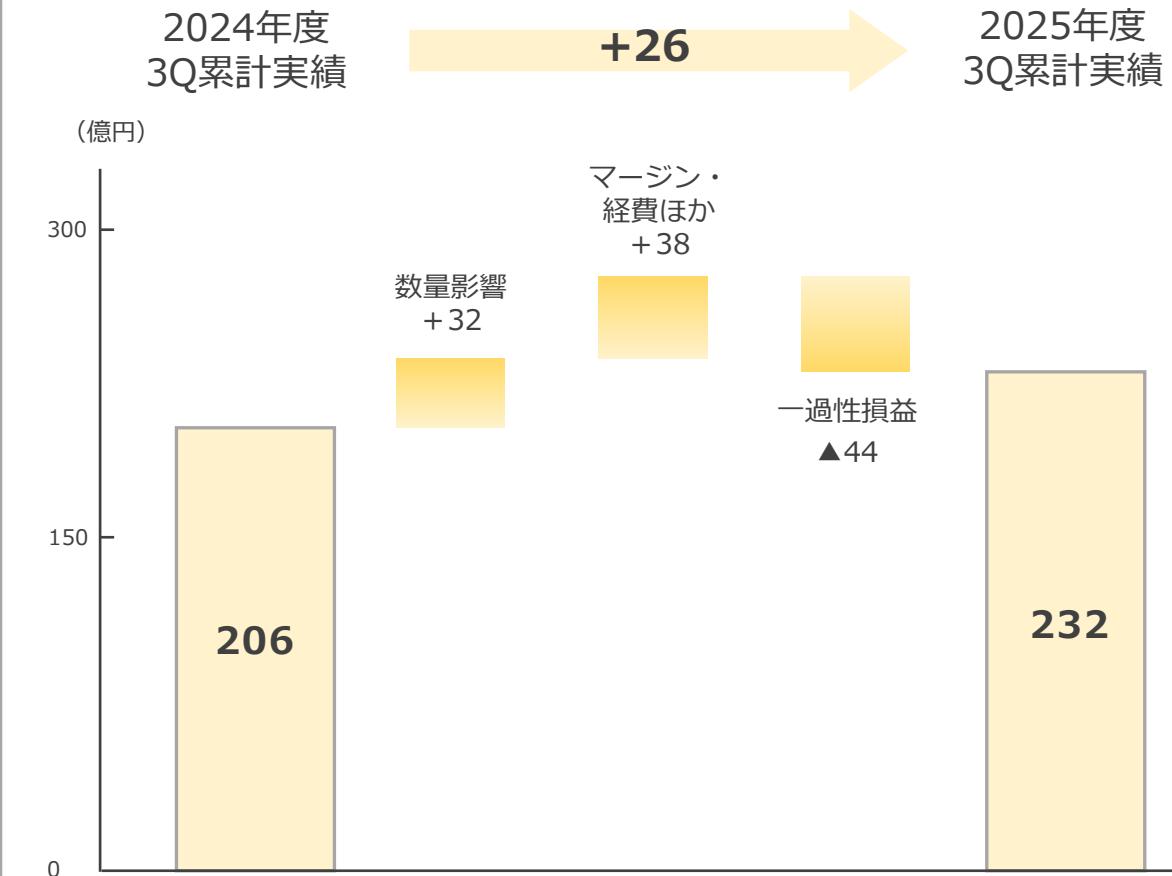
資源価格の下落および円高の影響により減益



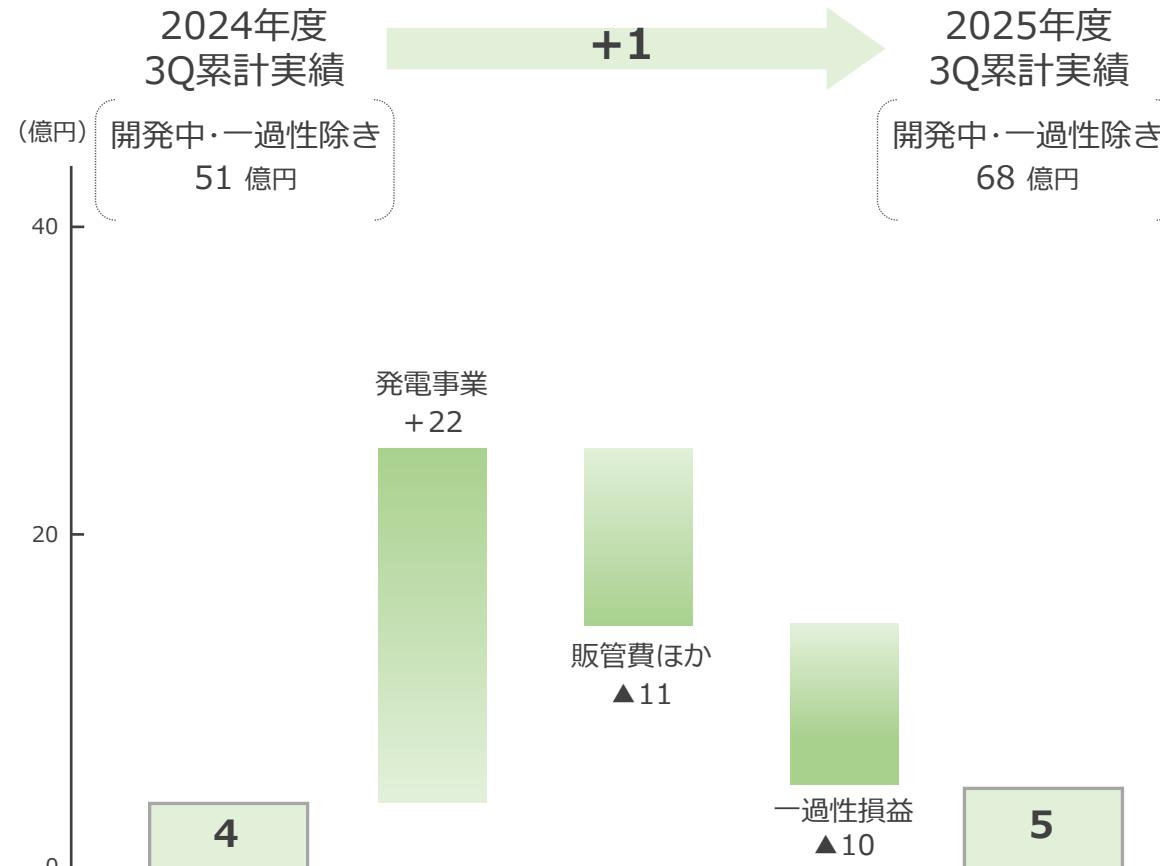
ブタジエン市況下落影響およびインフレ等に伴う経費増による悪化の一方、S-SBRの増販等により増益



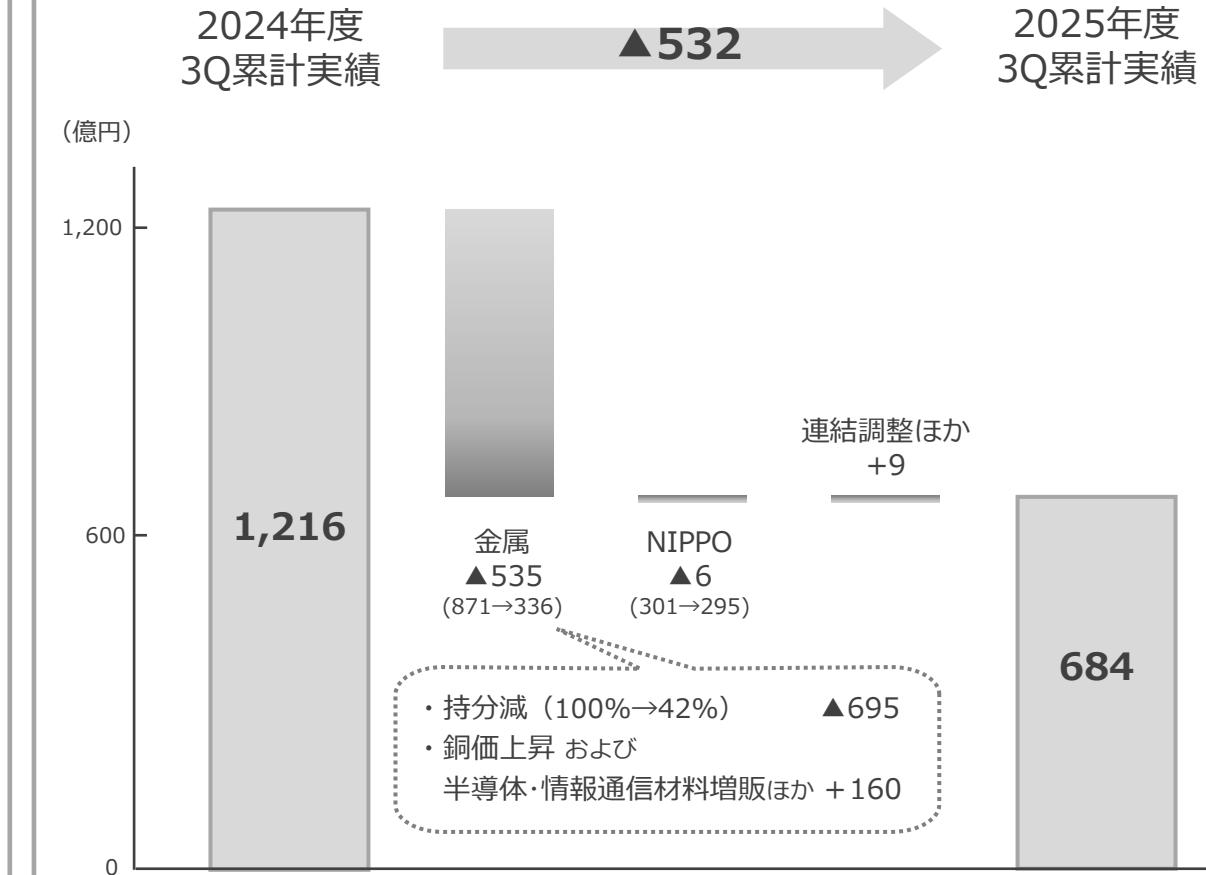
一過性損益の反転はあるものの、五井火力発電所の全基稼働に加え、販売数量増加等により増益



PJ先行支出や開発に係る規制強化に伴う減損計上による悪化の一方、発電所の新規運転や24年度天候不順の反転により前年並み



銅価上昇および半導体・情報通信材料の増販を主因としたJX金属の増益はあるものの、同社株式売却に伴う持分減により減益



連結キャッシュフロー・連結バランスシート

連結キャッシュフロー

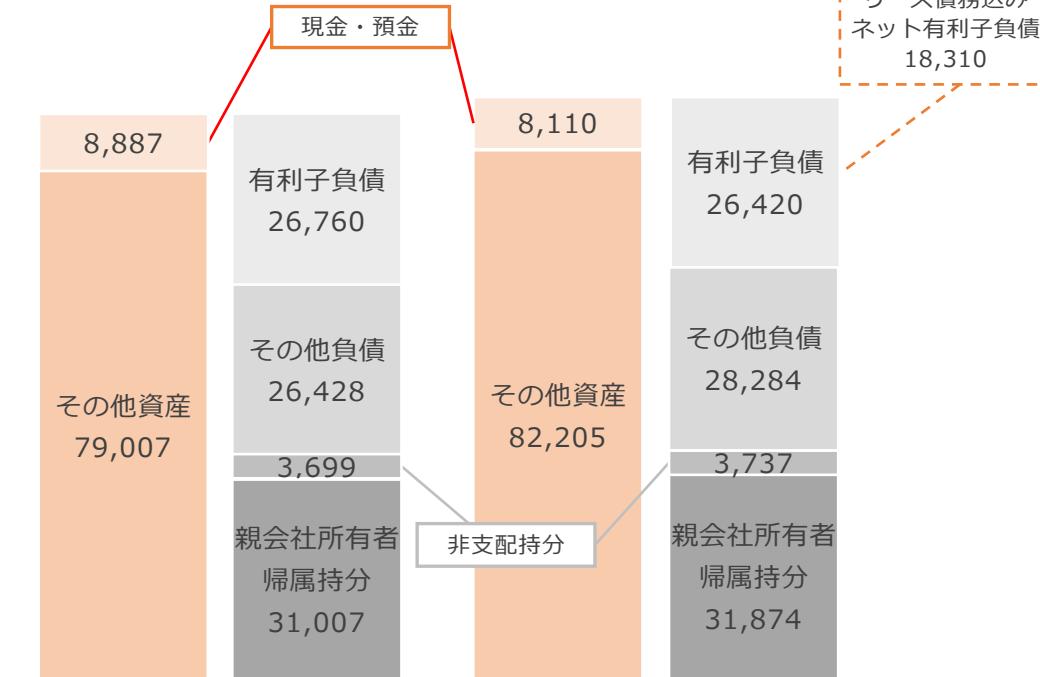
	2025年度 3Q累計
（億円）	
営業利益（在庫影響除き）	3,914
減価償却費	2,438
（うちリース除き償却費）	(1,758)
その他（運転資金・支払税金等）	▲2,413
営業キャッシュフロー (休日影響除き)	3,939
設備投融資	(2,916)
その他 ¹⁾	▲2,192
投資キャッシュフロー	457
フリーキャッシュフロー (休日影響除き)	▲1,735
配当他	2,204
ネットキャッシュフロー	(1,181)
	▲1,184
	1,020

1) 海運事業売却に伴う収入 (+) 788億円 を含む

連結バランスシート

2025年3月末

総資産：87,894



2025年12月末

総資産：90,315

（億円）

リース債務込み
ネット有利子負債
18,310

	2025年3月末	2025年12月末
親会社所有者帰属 持 分 比 率	35.3%	35.3%
ネットD/Eレシオ ²⁾ —ハイブリッド債 資本性調整後—	0.48	0.48

2) リース債務込み・非支配持分除き

5

参考情報

(参考) 金属事業に係る損益の取り扱い

- JX金属株式の一部売却による持分法適用会社化に伴い、決算短信においては**2024年度の金属事業に係る損益を当期利益において「非継続事業」として区分表示 (=営業利益に金属事業に係る損益を含まず)**
- 過去からの継続性の観点から、本資料においては2025年2月公表値を前提として掲出

決算短信 (今回公表) (億円)

	2024年度 3Q累計実績
売上高	90,890
営業利益	2,140
当期利益	2,117
うち 継続事業	1,534
<u>非継続事業</u>	583
親会社所有者に帰属する 当期利益	1,707

2025年2月公表 (億円)

	2024年度 3Q累計実績	(うち継続事業)	(うち非継続事業 ¹⁾
売上高	96,059	90,890	5,169
営業利益	3,025	2,140	885
当期利益	2,117	1,534	583
親会社所有者に帰属する 当期利益	1,707		

1) 旧金属セグメント損益（営業利益871億円）に加えて、JX金属とのグループ内取引に係る損益（その他セグメントの内数として営業利益14億円）の合計

差異あり

金属事業に係る
損益を含まず

継続 + 非継続の合算表示のため
区分表示による影響は無し

前提条件

		2024年度			2025年度		
		上期 実績	3Q累計 実績	通期 実績	上期 実績	3Q累計 実績	通期 見通し (11月公表)
共 通 為替レート	(円 / ドル)	153	153	153	146	149	148
石油製品ほか	ドバイ原油	(ドル / バレル)	82	79	79	69	67
	白油販売数量	(万キロリットル)	2,078	3,273	4,435	2,022	3,160
石油・天然ガス開発	原油換算販売数量	(千バレル / 日)	92	95	95	93	93
	ブレント原油	(ドル / バレル)	82	79	78	67	66
機能材	エラストマー販売指数 ¹ (%)		103	100	101	101	103
電気	卸電力市場価格 (JEPX) ² (円 / kWh)		12.4	12.6	12.7	11.7	11.5

1) 2022年度の販売数量を基準 (100%) として、相対的に算定した指数

感応度

■諸元の変動による2025年度営業利益への影響額（2025年10月以降）

※11月公表再掲

項目	変動幅	影響額				(億円)
	5 \$/B 上昇		在庫影響除き		在庫影響	計
			ラグ以外	ラグ		
ドバイ原油	5 \$/B 上昇	石油製品ほか	▲10	+150	+140	+500
		石油・天然ガス開発	+30	—	+30	—
		機能材	—	—	—	—
		計	+20	+150	+170	+500
						+670
為替レート	5 ¥/\$ 円安	石油製品ほか	+20	+75	+95	+250
		石油・天然ガス開発	+25	—	+25	—
		機能材	+5	—	+5	—
		計	+50	+75	+125	+250
						+375

将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、
実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。
かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 法律の改正や規制の強化
- (3) 訴訟等のリスク

などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。